

## ■ 測量実施のご報告

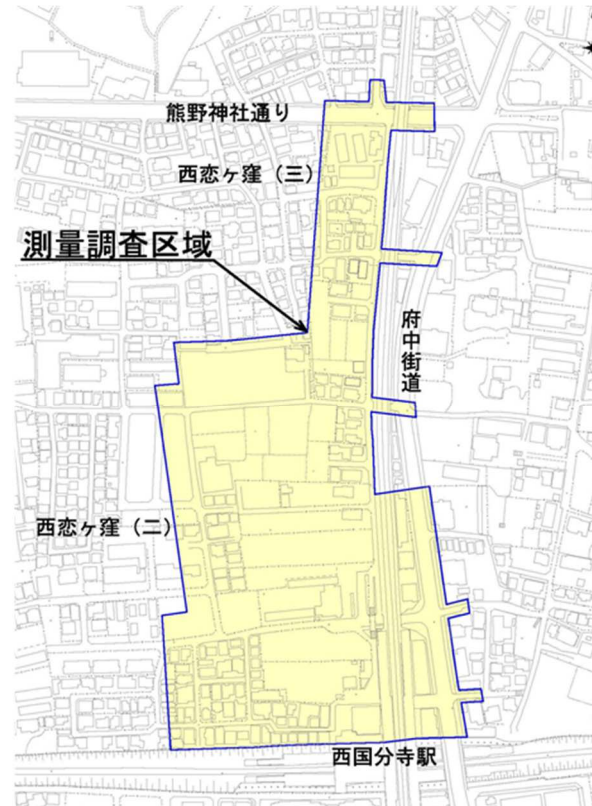
令和7年9月下旬から右図に示す着色箇所のうち必要な箇所において、測量を実施しております。

本調査は、整備の検討に必要な地形や地盤の高さなどの把握を目的としております。

測量は令和8年2月まで実施予定です。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲測量実施の様子



## ■ 次回勉強会について

次回の勉強会は、令和8年1月23日(金)、令和8年1月24日(土)を予定しております。

開催にあたっては、駅前エリアに土地・建物の権利をお持ちの方々を対象に改めてお知らせいたします。対象の皆さまのご参加をお待ちしております。

### 勉強会の内容(予定)

- ・第2回の振り返りや更新事項  
(公共施設配置等の検討の進展状況に応じて)
- ・駅前街区の導入機能や駅前空間イメージ
- ・歩行者動線、歩行者広場の考え方 等

※検討内容は、今後の検討状況等に応じて変更になる可能性があります。



- ◎ 西国分寺駅北口周辺整備に関する情報を、市のホームページで紹介しています。トップページのページ番号検索で【1027608】と入力して検索してください。
- ◎ また、右記の二次元コードからもアクセスできます。



### 【権利者の皆さまへのお願い】

土地・建物の名義や住所の変更がございましたら、下記へご連絡いただければ幸いです。

発行/国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課  
住 所: 〒185-8501 国分寺市泉町二丁目2番18号  
電 話 番 号: 042-312-8662 E-mail: ekiseibi@city.kokubunji.tokyo.jp

2025.12  
News

No.27

# 西国分寺駅北口周辺 まちづくりニュース

国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課

## ＜今号のトピック＞

- ・第2回勉強会を開催しました(11/7、11/8)
- ・測量を実施しています(来年2月までの予定)

## ■ 第2回勉強会実施のご報告

令和7年11月7日(金)、11月8日(土)の両日、市役所会議室において、西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現に向けた『勉強会』を行いました。

駅前エリアに土地・建物の権利をお持ちの皆さまにご案内を差し上げ、2日間(3部)で延べ36名のご参加がありました。

今回の勉強会では、整備実現に向けた今後の進め方と今年度検討内容、将来の事業エリアイメージや公共施設配置の考え方について活発な意見交換が行われました。

(内容の詳細は次ページをご覧ください。)



## 意見の概要 下記の他にもたくさんの意見交換がされました



組織化の準備について具体的に知りたい

交通広場のレイアウトを検討したい



西国分寺らしいまちづくりを進めてほしい

子連れや高齢者に優しいまちにしてほしい



勉強会の参加者をもっと増やしたい

国分寺市はまちづくりに意欲的な市だと思う



西国分寺駅北口の良さを残した整備を行ってほしい

今後駅前エリアの皆様と勉強会において検討を進め、意見交換会においても引き続き検討状況の報告並びにご意見を伺う機会を設けてまいります。

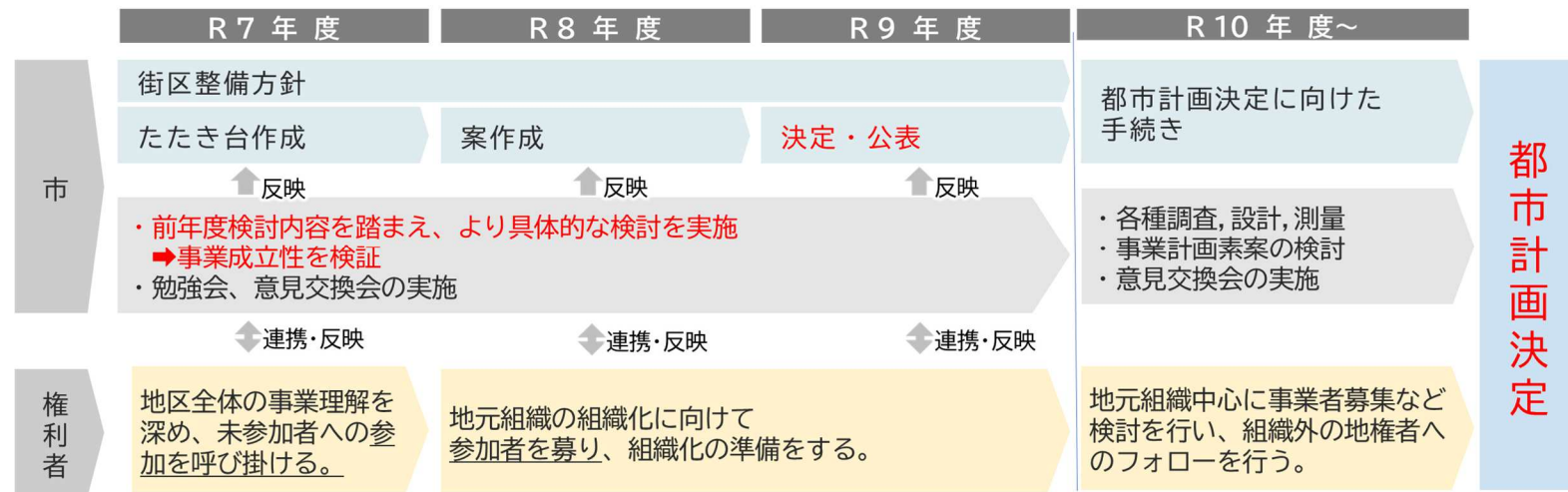
勉強会や意見交換会の開催にあたっては、対象の方々に改めてお知らせいたします。

## 第2回勉強会概要

第2回勉強会では、整備実現に向けた今後の進め方と今年度の検討内容、事業のエリアや公共施設配置の考え方についてご説明し、意見交換をしました。

### ● 整備実現に向けた今後の進め方と今年度の検討内容

今年度から令和9年度にかけて、**都市計画決定を行うための「街区整備方針」**を定めることを目指します。



### 💡 街区整備方針とは…？

都市計画決定による事業実現に向けて、**目指す事業の全体像や進め方に関する方針**を定めるもの。

- 内容（案）
- ・ 整備目的
- ・ 事業エリア
- ・ 土地利用計画案（土地利用&都市基盤の方向性）
- ・ 事業手法
- ・ 事業の進め方（事業主体、役割分担、スケジュール等）

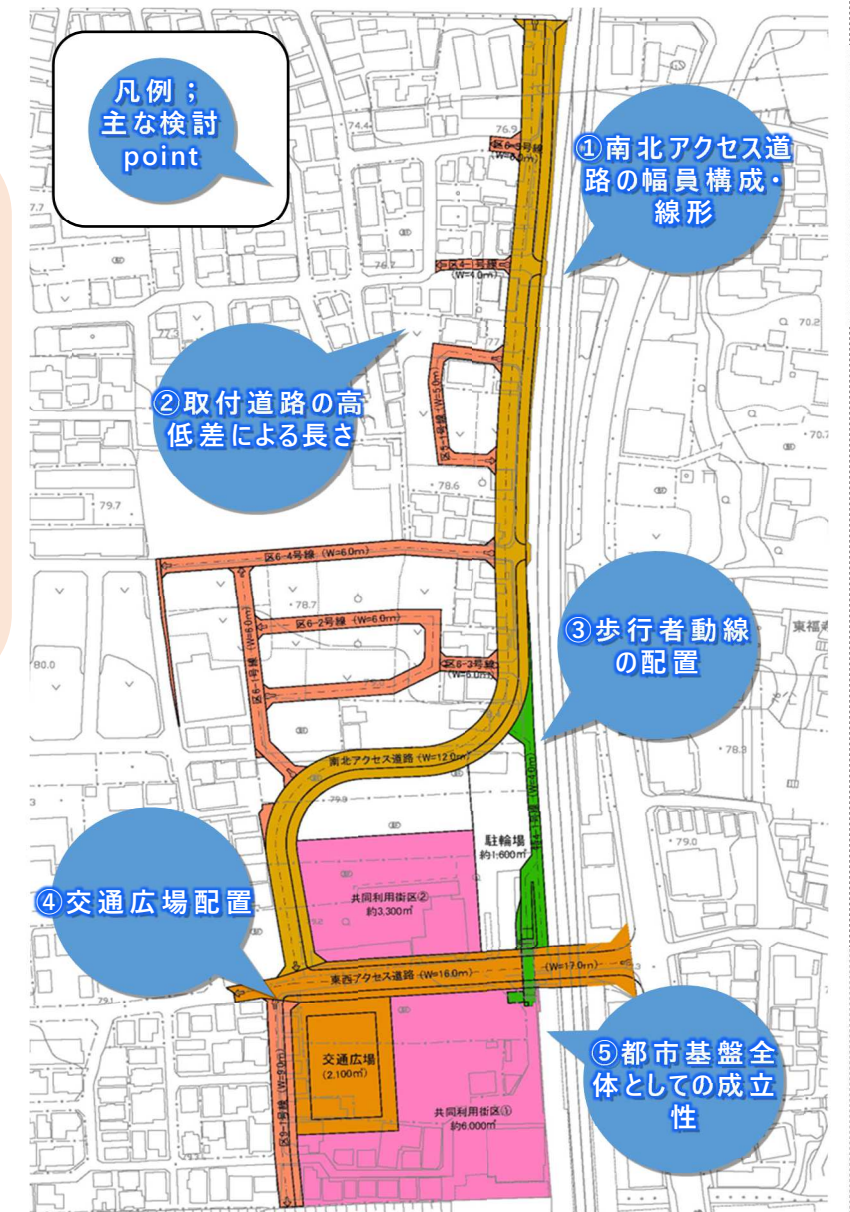
街区整備方針を定めるために「**事業エリア**」「**土地利用計画案**」を決める必要があることから、今回の勉強会では、事業エリアの考え方や土地利用計画図案についてご説明しました。

### ● 土地利用&都市基盤の方向性の考え方

今まで検討した都市基盤の方向性をもとに、下図の**土地利用計画図案のたたき台**をお示しました。

#### ● 今後の検討内容

- ✓ 南北アクセス道路の幅員構成・線形の精査
- ✓ 南北アクセス道路と周辺の現況道路の取付道路の精査
- ✓ 「交通広場」「歩行者動線」「東西アクセス道路」の配置精査

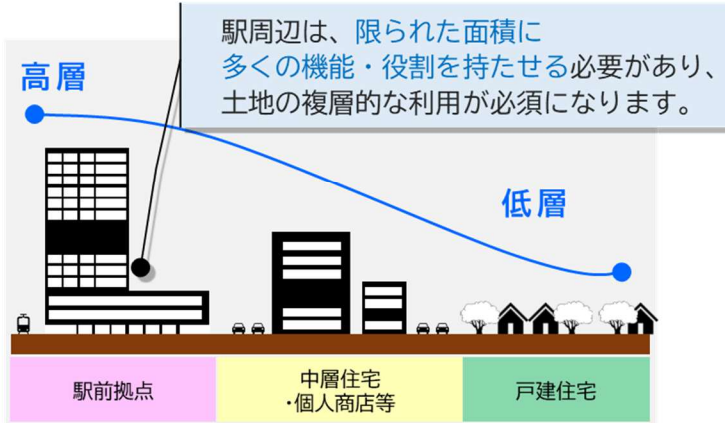


→ 土地利用や交通の観点から、最適な南北アクセス道路と交通広場の配置の検討を深めました。

### ● 事業エリアの考え方

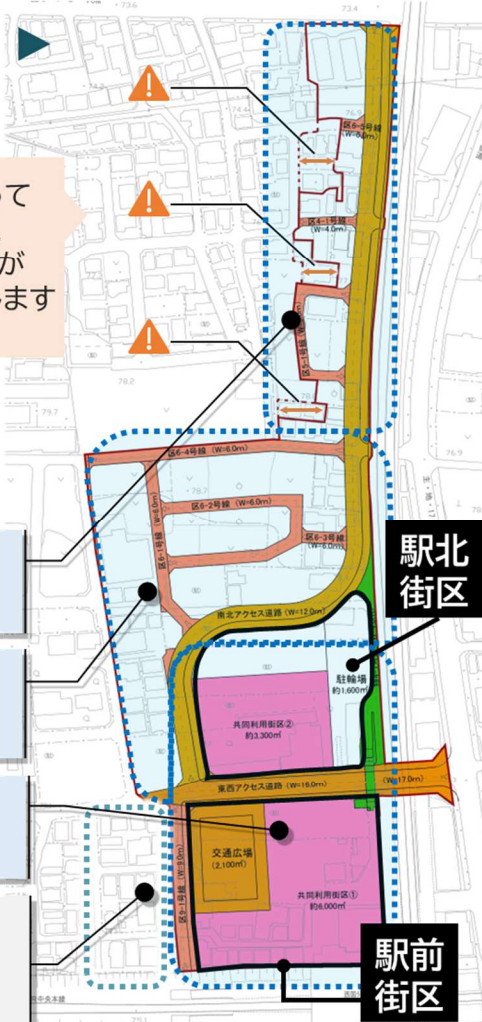
駅周辺における段階的な土地利用構成を目指し、**事業エリアイメージ**を共有しました。

#### ▼ 駅周辺における段階的な土地利用構成のイメージ



#### 事業エリアイメージ

取付道路影響範囲によって事業エリアは変動します。現状は、地権者への影響が少ない最小範囲を想定します（赤実線）。



#### ■ 戸建住宅向けの土地利用エリア

- ・ 南北アクセス道路との接続をふまえたエリアの設定

#### ■ 中層住宅・個人商店系土地利用のエリア

- ・ 段階的な土地利用実現、個別利用希望者の受け皿となるエリアの設定

#### ■ 駅前拠点系土地利用のエリア

- ・ 駅前の土地利用、都市基盤整備内容を踏まえたエリアの設定

#### ■ 用途地域見直しエリア

- ・ 現状4m程度道路が整備されているなど一定の都市基盤が整っているため、**事業エリアに含めず**、用途地域見直しを行います。